

令和6年度 事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和6年度の世界情勢は、中国における不動産市場の停滞の継続、海外景気の下振れ、物価上昇、1月に就任したアメリカトランプ大統領の「米国第一」の政策による追加関税の発効など世界経済へ大きな影響を及ぼしています。

また、4年目に入ったロシアのウクライナへの侵攻は、停戦への動きは厳しく戦況は依然として継続しています。

国内の政治情勢では、衆議院選挙で与党が過半数割れとなり少数与党となる中で、令和7年度予算は年度末に成立したものの、政策運営は依然不安定な状況が続いています。

県内の経済情勢は、個人消費が緩やかに回復し、雇用・所得環境の改善により持ち直したものの、物価上昇は続き、年度後半にはコメの品薄・高騰、野菜やガソリン代等の価格上昇が続きました。

奈良県労働基準協会を取り巻く状況は、登録教習機関として実施している技能講習等において、令和5年度に大幅に増加した「建築物石綿含有建材調査者講習」、「石綿作業主任者技能講習」等の受講者数が令和6年度は大きく減少し、講習事業全体の収益を押し下げました。

会員数は漸減しており、加入勧奨により、減少幅は最小に抑えられたものの全体では7件の減少となりました。

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの各支部における会員の入退会の状況は、以下のとおりとなりました。

支 部	奈良	葛城	桜井	大淀	計
令和6年3月31日現在	330	224	103	117	774
新 入 会 員 数	7	2	1	0	10
退 会 会 員 数	6	4	4	3	17
令和7年3月31日現在	331	222	100	114	767

* 支部間移動については、新入会員数・退会会員数に計上。

公益目的達成の為に、以下の事業を実施しました。

1 公益目的事業

労働災害の未然防止、働く人の安全と健康の確保、労働基準法等関係法令の普及・啓発、快適職場環境の形成、産業の健全発展等を目的として実施しました。

(1) 労働災害防止対策・健康保持増進対策の推進

技能講習、特別教育、講習会等

(ア) 資格付与(別添「技能講習等実施状況(令和2～令和6)」参照)

(イ) 特別教育(別添「技能講習等実施状況(令和2～令和6)」参照)

(ウ) 講習会・研修会等

㊦ 新入社員の安全衛生研修会

新入社員等の安全かつ健康就労を目的として実施しました。

○ 会場等

開催日 令和6年4月17日(水)
場所 株式会社奈良新聞社 西館3階会議室
参加者 42名

○ 内容

「新入者安全衛生テキスト」(中央労働災害防止協会編)等を使用。

※ 講師 元労働基準監督官 高井 吉昭氏

① 外国人技能実習制度関係者養成講習

「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」に基づき、技能実習制度がこれまで以上に適切かつ円滑に運営されることを目的に実施しました。

講習内容等

① 技能実習責任者講習

開催日 令和6年7月23日(火)8時55分～16時40分
場所 株式会社奈良新聞社 西館3階会議室
受講者数 13名

② 技能実習指導員講習

開催日 令和6年7月24日(水)8時55分～16時10分
場所 株式会社奈良新聞社 西館3階会議室
受講者数 6名

③ 生活指導員講習

開催日 令和6年7月25日(木)8時55分～15時10分
場所 株式会社奈良新聞社 西館3階会議室
受講者数 6名

※ 講師 労働安全コンサルタント 濱田 安一氏
社会保険労務士 川崎 正幸氏

(2) 普及啓発事業

労働災害の未然防止に資するために、労働安全衛生法、労働基準法等関係法令等に関する普及啓発事業を実施しました。

(ア) 第14次労働災害防止計画の周知活動 通年

(イ) ゼロ災全員参加運動 通年

経営者、管理監督者、第一線で働く労働者等が、各々の立場・持ち場で労働災害防止活動に参加し、衆知を集めて問題を解決する明るく生きいきとした職場風土作りを目的に本運動を推進しました。

(ウ) 労働災害防止講習会等

中央労働災害防止協会の年間スローガン「小さなヒヤリも大事な気づき 声に出して災害ゼロ」の周知・広報に努めるとともに、県内4地区で83名を集め、労働災

害防止講習会を開催しました。

(エ)第35回3ヵ月無災害運動

奈良労働局・管下労働基準監督署の主唱により、本運動を展開しました。

奈良県労働災害防止関係団体連絡協議会には、707事業場からの申し込みがあり、649事業場に無災害達成証を交付しました。

(オ)全国安全週間及び準備月間行事

6月1日～7月7日

人命尊重という崇高な基本理念の下、産業界における自主的な労働災害防止活動を推進すると共に、広く一般の安全意識の高揚と安全の定着を図るために県内4地区で98名を集め講習会を実施しました。

(カ)全国労働衛生週間及び準備月間行事

9月1日～10月7日

県内における労働衛生の意識を高揚させ、事業場における自主的労働衛生管理活動の定着を通じて労働者の健康確保と労働災害の防止を図るため、県内4地区で98名を集め講習会を実施しました。

(キ)全国産業安全衛生大会(広島市)への参加

11月13日～11月15日

奈良県内から18名(13社)が参加しました。本大会では、安全衛生に長年ご貢献されました㈱丸島アクアシステムの橋本清次様が「緑十字賞」を受賞されました。

(ク)奈良県産業安全衛生大会

10月18日

「奈良県産業安全衛生大会」は、節目の第50回目の開催を迎え、奈良県労働災害防止関係団体連絡協議会主催のもと、かしはら万葉ホールにて約400名の参加者を集め、日本最古の神社である大神神社の高山氏(権禰宜)から「大神神社にご奉仕して～信仰に生きる・働くということ～」と題して、特別講演をいただきました。

また、県下の産業発展に寄与することを目的に、安全衛生水準の向上に努力し安全衛生成績の進歩の跡が顕著である4事業場に「事業場賞」を、長年、地域の労働安全衛生水準の向上に功労のあった4名に「個人賞」を、(公社)奈良県労働基準協会長から表彰されました。

(ケ)健康診断実施促進運動

通年

労働安全衛生法等で定める健康診断の実施・促進の周知・啓発を行ないました。

(コ)第54回年末年始無災害運動

12月1日～1月15日

年末年始に多発傾向にある労働災害、交通労働災害、火災などの災害防止のため、「今年もやります！ 基本作業の徹底 年末年始も無災害」をスローガンに、本運動の普及・啓発に努めました。

(サ)労務管理セミナー等の開催

経営者、管理者等へ職場における労働条件の確保、ハラスメント防止等について県内4地区で、79名を集め周知・啓発に努めました。

(3)機関誌の発行事業

機関誌「奈良労基」を隔月1回、定期発行しました。令和6年4月1日～令和7年3月31日までの発行部数は5, 150部。

(4) 安全・衛生等表彰事業(再掲)

労働災害の未然防止と、労働者の福祉の増進及び快適な労働環境の促進を図ることにより奈良県下の産業発展に寄与することを目的に、県内の安全衛生水準の向上に努力し、安全衛生成績の進歩の跡が顕著である4事業場に「事業場賞」を、長年 地域の労働安全衛生水準の向上に功労のあった4名に「個人賞」を、(公社)奈良県労働基準協会長から表彰しました。

(5) 相談・援助事業

労働基準法等の労働者保護法令に関する相談に応ずると共に、当協会では対応不能な事案については労働局・署・所等の関係行政機関を紹介しました。

2 その他の事業

- (1) 労働災害防止団体等の事務代行を行いました。
- (2) 労働安全衛生関係用品斡旋事業を行いました。
- (3) その他労働災害防止に関連する事業(労働災害総合保険の斡旋等)を行いました。